

AJEQ ニュースレター

春季号の内容

ケベック、海外の友人たちへ: 小畑
AJEQ ブログ(3/17)掲載の「お見舞い」: 小畑
ケベック州政府在日事務所の新代表
AJEQ会員の最近の執筆発信活動

ケベック、海外の友人たちへ: AJEQ 会長

ケベックの友人、海外の友人たちへ: Nos amis québécois et nos amis à l'étranger

今回の大震災・原発事故に対して、AJEQやメンバーにケベックや海外から支援のメッセージが続々と寄せられています。感謝申し上げます。

Depuis le terrible tremblement de terre et l'accident de la Centrale nucléaire, nous avons reçu du Québec ou des autres parties du monde tant de messages adressés à l'AJEQ ou ses membres. Nous en remercions infiniment.

現在まで寄せられている情報によりますと、AJEQ会員の中で犠牲になられた方はおられないようです。しかし、少なからぬ被害を被った方がおられます。まずはお見舞い申し上げます。

D'après les informations données jusqu'ici, nous ne connaissons aucune victime parmi nos membres, mais il y en a qui subissent des pertes considérables. Nous leur témoignons ici de notre sympathie.

余震も毎日のようにあり、原発事故はまだまだ予断を許さない状況ですが、徐々にわれわれは日常生活をとりもどすべく、それぞれの立場で努力しております。皆さまからの励ましの言葉が私たちをどれだけ勇気づけてくれていることでしょうか。

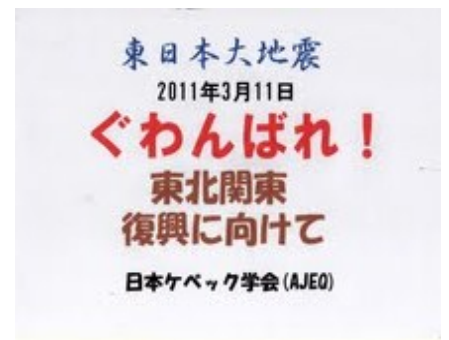
今後ともよろしくご支援のほどをお願い申し上げます。

Alors que l'on connaît toujours quelques secousses secondaires plus ou moins grandes chaque jour, et que la situation de la Centrale nucléaire de Fukushima est difficile à prévoir, nous faisons des efforts pour que notre vie quotidienne revienne à la normale chacun à sa place. Nous ne saurons combien vos messages nous encouragent. Nous espérons répondre à votre encouragement. Merci d'avance.

日本ケベック学会会長 小畑精和

Président de l'Association japonaise des Études québécoises

OBATA Yoshikazu.



AJEQよりのメッセージ (安田理事作)

日本ケベック学会(AJEQ)とは

「日本ケベック学会」(AJEQ)は、日本でのケベック・フランコフォニーに関する学術研究・芸術文化交流などを振興し推進する学会です。ケベックやフランコフォニーにご興味のある方の参加をお待ちしています。

学会活動の詳細は以下のホームページ(HP)とブログをご覧ください。

HP: <http://www.ajeqsite.org/>

ブログ: <http://ajeq.blog26.fc2.com>

AJEQ ブログ (3/17) 掲載の「お見舞い」

お見舞い:

Témoignage de notre sympathie

今回の地震は史上最大級のもので、私も生まれて初めて恐ろしさを肌身感じました。

会員の中には、東北地方に在住の方もおられ、甚大な被害を被っていないか懸念されます。

それに加えて、原子力発電所の事故が非

常に心配です。

ただご無事を祈るばかりです。

状況をご一報いただければ、大したことはできませんが、学会として少しでもお役に立ちたいと存じます。

まずはお見舞いまで。

Nous témoignons ici de la sympathie aux victimes du séisme.

小畑精和 日本ケベック学会会長

ケベック州政府在日事務所の新代表にクロード・イヴ・シャロン氏

ケベック州政府在日事務所の新代表にシャロン氏

(2月17日のケベック州政府在日事務所のウェブサイトより)

ケベック州政府在日事務所 新代表任命される

クロード・イヴ・シャロン氏がケベック州政府在日事務所の新代表に任命された。着任は2011年4月4日。

国際開発分野において幅広い経験を持つシャロン氏は、カナダ連邦政府の外交官として北京駐在、また、国連外交官としてジュネーブ勤務などの海外勤務の経歴がある。コミュニケーション学博士であり、2002年からは、ケベック大学モンレアル校のアカデミック・サービスならびにテクノロジー開発の副学長を務めた。現在、同氏は、コミュニケーション分野のユネスコ憲章国際ネットワークであるOrbicomの事務局長でもある。

<http://www.mri.gouv.qc.ca/portail/scripts/Actualites/ViewNew.asp?strIdSite=JPN&NewID=8706&lang=jp>

Nouveau chef de poste à la Délégation générale du Québec à Tokyo

M. Claude-Yves Charron est nommé, à compter du 4 avril 2011, Délégué général du Québec à Tokyo, au Japon.

M. Charron possède une vaste expérience en développement international. Il a été diplomate canadien à Beijing et diplomate de l'ONU à Genève. Docteur en communications, il est depuis 2002 vice-recteur aux Services académiques et au développement technologique à l'UQAM.

Actuellement, M. Charron est secrétaire général d'Orbicom: Réseau International des Chaires UNESCO en communication.

<http://www.mri.gouv.qc.ca/portail/scripts/Actualites/ViewNew.asp?strIdSite=JPN&NewID=8706&lang=fr>

AJEQ会員の最近の執筆発信活動

加納 由起子 (神戸女学院大学) :

一人一人の方が、希望を持って、今日の日を終えてくださっていることを祈ります。

先日、ケベックの日刊紙 Le Devoir から依頼を受けて、一日で震災についての主観的感想を書かなければなりません。3月19日の特集に掲載されました。こちらにお送りします。

<http://www.ledevoir.com/index.php/international/asi/319154/seisme-et-tsunami-au-japon-ma-patrie-une-legende-a-reinventer>

最初のタイトルは「祖国、それとも、...」といった私自身の絶望と希望の間の逡巡をあらわすものでしたが、ケベックの読者用に分かり易いタイトルになっています。なおこの記事は、フランスの日刊紙 Libération に採用され、3月23日に掲載されました。

<http://www.liberation.fr/monde/01012327147-japon-une-legende-a-reinventer>

宮尾 尊弘 (筑波大学) :

今回の巨大地震、津波、原発事故による日本の状況については、様々な見方や意見があり、特に原発の問題について日本国内での見方と海外メディアの取り上げ方かなりの温度差があります。海外メディアの報道によって、日本の状況が非常に危険で、放射

能汚染などでこれからも危険度が増すという必要以上の恐れから外国人が日本から脱出したり、海外から日本に訪問する予定を中止する外国人が増えているようで非常に残念です。

これに対して、私として何かできないかと思い、特に海外での誤解を解くために日本の状況に対する基本的な事実の説明を、3月21日付で以下の日本・ケベック・ブログにアップしました。

<http://japanquebec.blog76.fc2.com/blog-entry-69.html>

また、この日本語と英文はそれぞれ以下の日本英語交流連盟のウェブサイトにも掲載されました。

<http://www.esuj.gr.jp/jitow/jp/contents/0312.htm> (日本語)

<http://www.esuj.gr.jp/jitow/eng/contents/0312.htm> (英文)

山出 裕子 (明治大学) :

とりあえず落ち着いてきたようですが、いかがお過ごしでしょうか。3月20日の読売新聞日曜版の書評欄に、拙著『移動する女性たちの文学』(御茶の水書房刊)の書評が掲載されています。書評者は東京外語大学の今福龍太先生です。

ちなみに、拙著では、ケベック文学についても少々触れております。また書評の中で、ケベック文学(アキ・シマザキ)についても触れてくださっていますので、もしご興味がありましたら、どうぞ一読ください。

<http://www.yomiuri.co.jp/book/review/20110322-OYT8T00338.htm>

後記

2011年最初のニュースレターでは、春の季節にふさわしい明るい内容にしたいと思っていましたが、その希望も3月11日の大震災と津波に押し流されてしまいました。しかし、この災害を乗り越えて、やがて希望に満ちた将来につなげられるかどうかは、これからの私たち一人ひとりの努力にかかっています。頑張りましょう!(加納、宮尾)

AJEQ ニュースレター

年3回発行

発行人・小畑精和

編集人・加納由起子、宮尾尊弘

ajeq_ca@yahoo.co.jp

AJEQ ホームページ

日本でのケベックおよびフランコフォニーに関する学術研究・芸術文化交流を振興し推進する学会のHP

日本ケベック学会(10年10月~)

●主要役員

小畑精和 (会長)	●広報 HP 担当
小倉和子 (副会長)	加納由起子
立花英裕 (副会長)	小松祐子
池内光久 (監事)	安田 敬
曾田修司 (監事)	宮尾尊弘
S. エティエ (顧問)	